

市民活動センター★



たちかわ通信



◆編集・発行◆

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ
〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47 ☎ 042-529-8323 Fax : 042-529-8714
E-mail : aiaivc@whi.m-net.ne.jp URL : http://act.annex-tachikawa.com/

◆開所日・時間◆

月～金曜日 8 : 30 ~ 19 : 00 ※日曜日・祝祭日と12/28(日)~1/4(日)は
土曜日 8 : 30 ~ 17 : 15 お休みとさせていただきます

市民活動センターたちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2009.1 Vol.52

「早春!!市民活動体験月間～この春、何か始めよう～」開催します

ちょこっと参加できるものを取り揃えています

市民活動センターたちかわでは、「早春!!市民活動体験月間～この春、何か始めよう～」と題して、2月1日(日)～28日(土)の期間に、ボランティアなど市民活動に気軽に参加できるプログラムを各種ご用意しています。

**「これからボランティア活動を始めてみようかな」
「どんな活動があるのか知りたい」**

といった方におススメです。

「普段、立川のまちで活動しているボランティアグループの活動の様子を見学したり、1日体験参加する」「シンポジウムや講座に参加し学習する」などお好みのスタイルを選んで下さい。

活動体験の分野も、「子育て支援」「自然・環境保護活動」「福祉関係」など様々な活動があります。ご自身の興味や都合に合わせてプログラムカレンダーから活動を探してみるのも楽しみのひとつかと思えます。

市民活動センター主催のイベントも開催します(詳細はP2)。また、期間以外のプログラムもありますので、お気軽にお問合せ下さい。

春は、始まりの季節でもあります。これをきっかけに新たな出会い、活動に向けてスタートを切ってみませんか！

昨年度の市民活動団体(自立生活体操)によるプチ体験プログラム



昨年度の助成団体活動報告会の様子

※活動のプログラム日程、詳細については、「あいあい通信2/1号」「広報たちかわ1/25号」などでお知らせします。また、市内学習館・図書館などには、活動体験月間のプログラムカレンダーを置かせていただく予定ですのでご覧ください。

<<<今月号のもくじ>>>

- 「早春!!市民活動体験月間～この春、何か始めよう～」開催します。 P. 1
- 「早春!!市民活動体験月間～この春、何か始めよう～」市民活動センター主催イベントのお知らせ P. 2
- そば打ちボランティア養成講座報告 P. 3
- ふれあいミュージックフェスティバル開催しました
- 情報コーナー P. 4-6
- 貸し出し機材のご案内 P. 7
- 地域福祉コーディネーター活動報告
- 市民活動センターからのお知らせ P. 8

「早春!!市民活動体験月間～この春、何か始めよう～」 市民活動センター主催イベントの紹介

市民活動体験月間では、市民活動団体や福祉関係団体の体験プログラムの他に、市民活動センターたちかわの主催イベントも開催します。以下、ご紹介をします。

第18回 市民おもしろ大学 立川発!旬の野菜を食べよう!! ～地産地消と食の安全・安心を考える～

食の安全、安心が注目されているなか、立川では、地元の農家の方が市民と一緒に農作物を栽培する体験型農園を行っています。

土に触れ、収穫する体験を通して、野菜などに興味を持ち、自然、季節を感じることや旬の野菜を食べる機会、知る機会になっています。

この体験活動には、今までのべ約2100人の方が参加されているそうです。

今回の市民おもしろ大学は、農研会顧問で、体験型農園「スマイル農園」の農園主である豊泉裕さんを講師にお招きし、立川の農業の現状や取組み、活動などについてお聞きします。

当日は、地元野菜を試食して頂きながら、食の安全、安心、地産地消について皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。

野菜嫌い、苦手の方にもぜひ参加して頂きたい野菜が好きになる講座です。

日時：2月21日(土) 14:00～16:00
(13:30～受付開始)

会場：こぶし会館(立川市幸町5-83-1)

交通：多摩都市モノレール

砂川七番駅下車徒歩5分
バス

立川駅北口より玉川上水駅行き
こぶし会館前下車

体験農園の様子



NPO法人・非営利団体のための運営実務あれこれ講座

「NPO法人の立ち上げを考えているけれど、設立までにはどんな準備が必要なのだろう」、「法人格をとったらどんな実務があるのだろう」、「新しく会計の担当になったが会計の基礎がわからない」「法人を設立して間もないけれど、事務手続きにとまどっている」など。

こんな方はぜひご活用ください。NPO法人だけではなくボランティアグループや市民活動団体などでグループ運営の実務をされている方にもご活用いただける内容です。

内容：①2月3日(火)NPO法人設立ガイダンス

②2月12日(木)定款の作り方

③2月14日(土)NPO法人の会計・税務

④2月24日(火) NPO法人の労務

※必要な回のみを選択も可能です。

時間：①②④19:00～21:00

③10:00～15:00

場所：①②④立川市女性総合センター・
アイム5F第3学習室
(立川市曙町2-36-2)

③立川市総合福祉センター2F
視聴覚室(立川市富士見町2-36-47)

対象：NPO法人取得を検討されている団体の方やNPO法人・非営利団体で実務を担当されている初心者の方、非営利団体活動者、行政スタッフ、ボランティア・市民活動センタースタッフ、NPO活動に関心のある方

定員：30人

参加費：①500円②500円

③2000円(資料代込み)④500円

問合せ・申込：市民活動センターたちかわ

☎042-529-8323/ Fax：042-529-8714

E-mail: aiaivc@whi.m-net.ne.jp

●情報をお寄せください! ★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

そば打ちボランティア養成講座報告

そば打ちボランティア養成講座とは、福祉施設や地域でのイベントなどで、そば打ちボランティアの活動をする方を養成する講座です。講座終了後には、ボランティアグループとして活動したいという人たちに集まっていただきました。

「ボランティア活動を始めるきっかけが欲しかった」「地域での活動に興味があった」という人たちが集まり全4回、開催いたしました。

講師に砂川食文化研究会の方をお迎えし、参加者16名が、わいわいガヤガヤ楽しく一からそば打ちを学びました。

始めは、麺が太かったり細かったりと、上手いかなかったのですが、何回か作っていくうちに、手際もよくなっていったようにみえます。



同じ太さにそばを切るのが難しい！！

4回目には障害者と高齢者のデイサービスの利用者の前で、実際にそば打ちを披露しました。

初めて人前でそば打ちを行った講座参加者から

- ・初めはすごく不安でしたが、驚きがいっぱいで楽しかった。
- ・皆さんが喜ぶ顔がとても嬉しかった。
- ・もっとそばを打つ練習が必要。
- ・そば打ちの説明や利用者との会話をしながら、そばを打つのが難しかった。

など、今後の活動につながっていくような感想を聞くことが出来ました。

そば打ちボランティア養成講座は全4回を以って終了となりましたが、受講生が、何度か練習を重ねていき、自信のついたところで本格的に活動へと移る予定です。



目の前で行われたそば打ち。

ふれあいミュージックフェスティバル開催しました

障害の有無や世代を問わず一緒に過ごす時間

音楽の楽しみ方はいろいろあります。『コンサート会場で総立ち!!』や『一人静かにお茶を飲みながらぼんやりと』『背筋をピンと張って』などなど。

16年目を迎えたふれあいミュージックフェスティバルは、『地域にある大学で素晴らしい演奏を楽しむ』ことはもちろんですが、『赤ちゃんと一緒にでもいいし、完璧なバリアフリーではなくても障害のある方は周囲で配慮しながら来てもらえるようにすればいい。準備する側も来場されるお客さんもこの場にふさわしい公共の時間をつくる』という思いを軸に開催しています。



音楽大学ならではの本格的ステージ！



お楽しみプレゼント抽選会

このコンサートをここまで続けてこられたのは、情熱たっぷりの演奏を披露し、文化の香りあふれる会場を提供してくださる国立音楽大学と、開催資金と広報面で強力なバックアップをしてくださる東京ガス(株)多摩支店の支えあってのことです。また「どうぞみなさんゆっくり楽しんで」と会場内を細やかに動いてくださるボランティアの方々の力も大きなものとなっています。そして来場者の方が残してくださる「ホッとひとときをありがとう」のメッセージが16年バトンを繋ぎながらこのコンサートを続けてきた何よりの理由です。

今年もありがとうございます。

情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

★ボランティア・市民活動団体イベントカレンダー★

開催日	イベント名	場 所	問合せ先
1月 16 日 (金) 2月 4 日 (水)	至誠キートスホーム 講座(1) 「認知症について」	至誠キートスホーム	P. 5
1月 17 日 (土)	至誠キートスホーム 講座(2) 「高齢者サロン活動 入門講座ならびに 情報交換会」	至誠キートスホーム	〃
17 日 (土)	笑って、暮らそう、お正月！そのまま、1年 笑っちゃえ！いま太鼓判の、立川落語会！	幸学習館	P. 4
24 日 (土)	至誠キートスホーム 講座(3) フォーラム「認知症を地域で支える」	至誠キートスホーム	P. 5
2月 3 日 (火) 3月 10 日 (火)	完璧な親なんていない！ ノーバーデイズ・パーフェクト子育て教室	たまがわ・みらいパーク	〃
2月 5 日 (木)	フィンランドの楽しみ方	至誠ホーム	P. 6
2月 6 日 (金) 8 日 (日)	市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2009	飯田橋セントラルプラザ	〃

● ● ● イベント・講習・講座 ● ● ●

■笑って、暮らそう、お正月！そのまま、1年笑っちゃえ！

いま太鼓判の、立川落語会！

演者と演目

笑南亭南笑 「鹿政談」/立川亭小はく「かつぎ屋」/立川亭楽天 「未定」

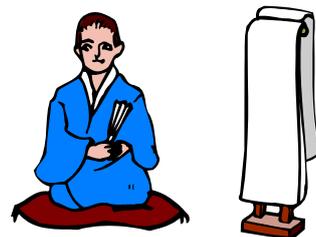
日 時：1月17日(土) 15:00から1時間ほど(14:20開場)

会 場：立川市幸学習館2F講堂

定 員：130人(申込み順、入場無料)

申込み・問合せ：立川市幸学習館(立川市幸町2-1-3)

☎042-534-3076(全日9:00～21:00)



●情報をお寄せください！★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

■至誠キートスホーム 講座とフォーラムのお知らせ

講座(1)「認知症支援ボランティア講座」

地域に住む認知症の人を支援するために開催する講座です。認知症についての講座や介護体験者のお話を聞いたり、実際に、介護体験もしてもらいます。

日 時：①1月16日(金)/②1月21日(水)/③1月26日(月)～1月30日(金)/④2月4日(水)
※13:30～15:30(各回共通)

内 容：①講義「認知症について」
講師 向山晴子さん(東京都多摩総合精神保健センター広報課長)
②報告「認知症介護体験」
③現場実習「至誠キートスホームデイサービスにて」
④活動報告「地域や施設でボランティアを展開する」

定 員：20名(地域住民の方を対象にしています)

講座(2)「高齢者サロン活動 入門講座並びに情報交換会」

高齢者サロン活動に関心のある市民を対象に、サロン活動を展開している方との情報交換会を行います。

日 時：1月17日(土) 14:00～16:00

内 容：実践報告と意見交換

定 員：20名(高齢者サロン活動実践者、活動に関心のある方を対象にしています)

講座(3)フォーラム「認知症の人を地域で支える」

認知症になっても、いつまでも住み慣れた地域で暮らして続けるためには、在宅サービスだけではなく地域住民の支え合いが必要不可欠ではないでしょうか。

参加者の皆さんとともに考えていきます。

日 時：1月24日(土) 13:40～16:15

内 容：1部 基調講演「認知症の人を地域で支える」
講師：柴田範子さん(NPO法人 楽 理事長)
2部 グループ討議

会 場：講座(1)・(2) 至誠キートスホーム会議室(※現場実習は、デイホーム)
講座(3) 至誠キートスホーム青空広場

申込み・問合せ：至誠キートスホーム(立川市幸町4-14-1)

☎042-538-2323/Fax：042-538-2324(栗原さん)

■完璧な親なんていない!ノーバーティーズ・パーフェクト子育て教室

カナダ生まれの子育てを学ぶ教室です。子育てにとまどい、不安を感じているお母さん達が集まって、みんなで話し合いを進めながら、自分にあった子育てをみつけましょう!

日 時：2月3日(火)～3月10日(火) 全6回毎週火曜日

会 場：たまがわ・みらいパーク

対 象：0才～3才の子育て中の親(全部出席できる方)

定 員：12人(申込み順)

参加費：2,000円(本代1,680円・お茶菓子代)

保 育：有り

進 行：NPJ認定ファシリテーター 榎本さやかさん、谷岡義乃さん

申込み：1月13日(火)より電話にて受付ます。

ミニトマの木

☎042-521-2814(阿部さん)



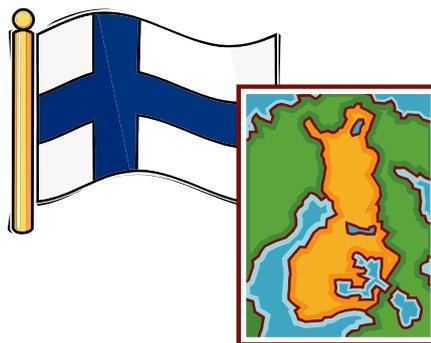
●情報をお寄せください!★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

■フィンランドの楽しみ方

～陽気なフィンランド人と元気な日本人が語るフィンランドの魅力～

北欧の国フィンランドと日本の国民性の違いや文化に関する講演会を行います。講師はフィンランドから日本に来て35年の橋本ライヤさんと、フィンランド大使館で長年お仕事をされてきた阿川聡子さんです。

日 時：2月5日(木) 14:00～15:30
場 所：至誠ホーム4F研修室(立川市錦町6-28-15)
参加費：無料
定 員：70人
締切り：1月30日
申込み・問合せ：企画調整 寺澤さん、塙さん、大澤さん
☎042-527-0035/FAX:042-527-2646
E-mail:shisei-volunteer@shisei.or.jp



■市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2009」

～今、市民として”生きる価値”を問う～

現代社会が抱える問題に取り組む『市民活動』の“今”を捉えるフォーラムです。身近に感じる諸問題を 4つのカテゴリーに32の分科会など多様なプログラムで考えます。

- ①「社会の仕組みと制度」：自律、協同労働、死刑制度、温暖化など
- ②「安心して暮らせる地域社会づくり」：子育て、勤労者、障害者、人権、戦争など
- ③「『市民社会』の担い手づくり」：奉仕活動、市民学習、ボランティア経験など
- ④「お金で買えない価値～それぞれの幸せ」：居場所、市民メディア、若者
コミュニティアートなど

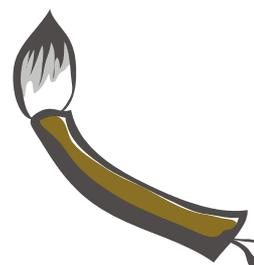
日 時：2月6日(金)～8日(日)
会 場：飯田橋セントラルプラザ(新宿区神楽河岸1-1)
参加費：1,000円
※期間中の分科会・プログラムから複数選択・ご参加いただけます。
申込み・問合せ：市民社会をつくるボランティアフォーラムTOKYO2009実行委員会
事務局担当者 近江さん、宮田さん
☎03-3235-1171/Fax : 03-3235-0050
URL:<http://www.tvac.or.jp/vf2009/>

● ● ● ひと・モノ・募集 ● ● ●

■書道ボランティア募集

書道の心得のある方。精神科デイケアの書道プログラムで、墨のすり方や筆づかいを指導していただき、メンバーさんと共に書道を楽しんで下さるボランティアの方を募集しています。
(交通費1日1000円まで支給)

日 時：月1-2回で3ヶ月(日程は応相談)
10:00～12:00または13:00～15:00
場 所：たかつき第二クリニック(精神科デイケア)
昭島市昭和町2-3-3 MSビル2F、3F
問合せ：☎042-549-0341 (清水さん)



●情報をお寄せください！★みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください●

貸し出し機材のご案内

市内の非営利団体やボランティア活動をしている市民の多くの方にご利用いただくために、市民活動やまちづくりに関する本、学校の体験学習や講習会などで使用できる車イス、アイマスク、他にも印刷機、拡大コピー機、パソコンなどの機材貸し出しを行なっています。

ぜひ、ご活用下さい。

■貸し出し機材

①印刷機

ハガキ～A3まで印刷可能

※印刷用紙は持参して下さい。

②拡大印刷機

A4サイズ of 原稿をA1に拡大できます。

垂れ幕やポスター作成にも便利

③パソコン

検索情報・持ち込まれたフロッピー、CD-Rの内容を印刷します。

「たちかわパソコン倶楽部」が所有するプロジェクターを立川市総合福祉センター内または館外でご利用可能です。

⑤電子ピアノ

「虹の音楽隊」が所有する電子ピアノを立川市総合福祉センター内でご利用可能です。

<車イス>体験学習や講演会など館外での利用可能です。

⑥アイマスク体験学習や講演会など館外での利用可能です。

<書籍>

NPO・まちづくり・ボランティア・組織マネジメント等の本を揃えています。

※①～④は使用に関しては有料になります。

■申込み

事前にお電話を入れていただくか、直接、市民活動センターにお申込み下さい。職員までお声掛け下さい。

地域福祉コーディネーター活動報告

新型インフルエンザ・パンデミックへの対策」講座開催報告&地域での広報

11月12日(水)、総合福祉センター視聴覚室にて講座を開催いたしました。新型インフルエンザについてはようやく最近報道で取り上げられることが一気に増えたように感じますが、この日も企業、介護・福祉施設の方、自治会など地域の活動者など50名を超える方にお集まり頂きました。

講義を受けて、以下の点を特に強く感じました。

- ①新型インフルエンザの特性、季節性のインフルエンザとの違い(毒性・感染しやすい年代など)
- ②自分が発症する前から他人に感染させてしまう可能性があること(つまり自覚せずに感染源になってしまう)
- ③企業と自治会、住民と公共施設、など地域での連絡体制も大切であること
- ④経営者、団体の代表などは率先して活動(経営)の自粛を決定しなくてはいけないこと
- ⑤組織のトップは活動の自粛を恐れないこと、つまり対策の「空振り」はOK! 「見逃し」はダメ!

その後、地域の方に講座の内容を伝えたところ、早速栄町の老人会さんより、忘年会で説明をして欲しいとのご依頼を頂きました。改めてこの話題だけで集って頂くとなると「集客」も大変で、お世話さんの負担が大きいものです。ですが忘年会ということもあり、30名を超える方に20分ほどで要点をお伝えしました。

前期の5点に加えて、咳エチケット、手洗いの徹底、外出の自粛、食糧や薬の備蓄など、「自衛」に関することもお話できました。

地域での連携も考えましょう!

講義の中で「企業は、もし感染者が従業員から出たら、その営業所地域の自治会長さんに必ず連絡をとって報告をすべし」ということが言われました。学校などの公共機関と地域自治会は比較的連携が取れていますが、同時に企業や介護関係事業所も地域や顧客、取引先との連絡が大事です。それが「地域での蔓延予防」「顧客の安全確保」につながります。正しく恐れる体制を作るために、ご自分の立場でできることを実践していきましょう。

「資料」あります。ご活用下さい!

また、防災関係のボランティア活動をされている方が、要点を盛り込んだ資料を作成して下さいだったので、活用して地域での説明に伺いたいと思います。これは医療の専門家でなくても説明できる内容ですので、ぜひ皆さんお住まいの地域自治会、活動団体、学校などで学習に活用されたら如何でしょうか?ご関心のある方は市民活動センターまでお問合せ下さい。

地域福祉コーディネーターは、地域に拠点を置き、まちの課題を住民と共に考えます。